|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 2021第1,2,3 RUTC答え24(29)(社)世界福音化伝道協会　www.wedarak.net | | | | | |
| 2022年7月16 ～ 7月17日週間祈りカード | | | | | |
| △産業宣教/レムナント伝道学/全国長老連合会修練会  ２講：７０人の祝福（使徒1:13-15)消えないこと（マタ10:40-42） | | | △核心/散らされた者たち/全国長老連合会修練会  ３講：タラッパンを回復しなさい（使2:1-4）７０地域に向けられた集中(使2:46-47) | | |
| ・24 (祈り24の幸せ、力、平安)、25 (御座の祝福)、00(永遠、私の運命になること)  ・24すべきこと－みなさんは、時代解決者であり、霊的司令官として世界を再創造する人(天地開闢の所有者)だ。それを24しなさい。  「70人祝福」－世界再創造のシステム  70弟子、70地域、70地教会、70産業-みなさんを通して70弟子が出てきて、70地域が掌握されて70地教会、70産業が起こる。成り立たなければならないことだ。方法は24すれば良い。  ・理由  ３団体　ネフィリム　霊的問題- 3団体がネフィリム運動によってみな掌握して、霊的問題が続けて出てくる。  宗教団体　マインドフルネス　学校問題-宗教団体が「マインドフルネス」という単語で人気を呼んでいる。これが学校に入り込んで、続けて霊的問題が出てきている。  未信者　衣食住　病気-未信者は教会には行かないのに、ここに(3団体、宗教団体)は行って、衣食住しか分からない。これで病気になるのだ。  霊的司令官-みなさんがこの答え(70人祝福)を受ければ、プラットフォーム、見張り台、アンテナをたてて、すべての地域を生かす司令官になるのだ。この祝福が来ているので、祈りで24すれば良い。  □序論  1.70人の祝福  1)編集(みことば+資料)－70人の祝福をどのように味わうのか、みことばと資料で編集してみなさい。  2)設計(祈り) -そうすれば設計が出てくる(祈り)。  3)デザイン(現場) -そうすれば現場が見える(デザイン)  2.70弟子-そうすれば長老1人に70弟子が生じる。  3.70地域-弟子を見つければ、その弟子は必ず70地域を掌握するようになる。 | □本論\_器  1.光の経済－7わざわい  光の経済が来る。7わざわい時代が来るたびにレムナントが現れる前に重職者が起きた。  2.プラットフォーム、見張り台、アンテナ－70人弟子、70人運動の力ができるが、みなさんと事業がプラットフォーム、見張り台、アンテナとなる。聖書にキリストが直接選ばれた70人弟子を通して、すべての答えの門がみな開かれた。  △多くの弟子が待っているのに目が他の所に行っている。祈り24が別の所にある。  3.未来－次世代(RT) -重職者が入って行ったところ  1)使13、16、19世の中が治せない人々をいやし  2)使17、18、19会堂  3)使19:21、23:11、27:24ローマ－この話がわかった重職者が世界を変えたのだ。  □結論  絵－24祈って絵を描くのだ。  図表-図表が出てくるが、実際にずっと出てくる。  方法-実際の巡回できる方法が出てくる。  弟子-弟子が出てくる。  レムナント伝道学「消えないこと」 -レムナントに知らせるなければならないこと  ・序論\_御座、暗やみ、たましいー永遠のこと  ・本論\_衣食住の中から永遠なことを見つけ出すべき  1.永遠-神様のみことばと御座、サタンと暗やみと地獄、私たちの人間のたましい  2.世界(世界観) -世の国、サタンの国、神の国  3.御座－天国の御座が私たちの背景だ。それゆえ、教会に献身して福音伝えることは、永遠に残る祝福であり、伝道して救われた人が永遠の冠になる。  ・結論\_学業-ここに(結論)で出て来るべきで、これ(結論)を作品として作るのだ。 | | 24、25、00を実際にどのようにするのか。私がこれをどのように伝達すれば良いのか。  制限された集中　選択された集中　Oneness集中－これが成り立てば、そのときから24、25、00になる。  時代解決者、世界再創造、時代治療者-この三つに集中しなければならない。  「タラッパン回復」 -それゆえ、このような結論が出てくる。  △3団体、新天地、彼らは毎日だ。24。どのように、この人たちを生かして止めれば良いのだろうか。  □序論\_モデル－五つのことを持ってこの三つの集中を長老が一人で先にしなければならない。  1.(C) -三つの国で世界の流れを読んでこそ契約がこのように流れていることを感じるようになる。  2.(V) -わざわいを見る目があってこそ私の職業が237と合う答えを受けるようになる。  3.(D) -今日を味わうのは必ず24になる確実なシステムを握ったのだ。  4.(I) -すべての産業は神の国(25)成し遂げる旅程に行くのだ。  5.(P) -みなさんの産業、私ひとりが70弟子、70地域、70の国。  □本論  1.制限された集中  1)人材、飢え渇いた、忠実、備え－この人たちを集めなさい。  2) 1、3、8－集中的に入れるのだ。  3) RUTC 5つの理由－集まる、散らされる、いやし・サミットを作る、後遺症を止める、私たちがいなくなったとき持続するRUTCを確かに植えてあげなければならない。  早天－私は行く教会ごとに40日、10日、1週間集めて完全に制限された集中訓練メッセージをした。  2.選択された集中  1)患者  2)使13、16、19－医者が直せないこの人たち  3)時間を定めておいて、弟子を送って、メッセージを送って集中した。  　徹夜、水曜(いやし) -ここで正しいことすべてすることができる。特にいやしだ。 | | 3.ワンネス集中  1) RT、次世代、3週、3か月、2年、毎週－レムナント、次世代に向かった集中だ。  2)使17:1、18:4、19:8  3)あらかじめ－出て行く前にあらかじめ植えなさい。裁判官が裁判官になる子どもたちを集中訓練するのと、牧師が単に説教することとは、また違う。  空間活用－重要なのは、あらかじめ植え付けることだ。長老の祈りと一言がとても重要だ。  □結論\_この一人になられなければならない。  W.I.O -この祝福を持っているモデル  OURS－これが出てくる。  24、25、00－24味わえるようになりながら神の国が臨んで永遠のことを握るようになる。  散らされた弟子たち-長老が最後に関心を持って、神様が最も大きい結論へ推し進められること  1.公生涯-ここに集中させることだ。  1)山上垂訓  2)国-マタ13章のたとえ、その鍵が神の国だ。  3)マタ16:16この告白が確実でなければ主がまことのみことばを語られない。  2.最後の講壇－ここに集中させるのだ。  1)使1:1復活されたキリストを見せられたのだ。  2)使1:3神の国とそのことを40日説明された。  3)使1:8この力を味わいなさい。  3.現場－世界の弟子-のがしてはいけない。  1)使2:9-11 15か国が見えて重要な弟子が会うのだ。  2)使2:41-42現場を本当に見てしまえば、すべての祝福の門がみな開かれてしまう。  3)使2:46-47毎日  △今日チェックしなければならない。私はどのようにこの祝福を味わうのか今しなければならない。 |
| 2021第1,2,3 RUTC答え24(29)(社)世界福音化伝道協会　www.wedarak.net | | | | | |
| 2022年7月16 ～ 7月17日週間祈りカード | | | | | |
| △区域メッセージ  幕屋の７大の祈り（いけにえ）と私の24」(出40:17-38) | | △聖日1部礼拝  真の人生の天国保険（マコ9:2-8) | | △聖日2部礼拝/一般信徒宣教献身礼拝  終わりの時代の真の伝道と宣教(マコ9:14-29)) | |
| |  |  | | --- | --- | | 幕屋 | 光(庭)、家(方向)、移動(伝道、宣教) | | ７大祈り-24 | |   △イスラエルは幕屋中心に荒野40年を行った。この幕屋は、異邦人、旅人、子どもたちが休むことができる庭を作って24時、明かりをともした。信徒の家の方向は完全に幕屋側に向いている。幕屋は、移動することができるようにしたのは伝道、宣教を理解するようにする。ここで重要な祈りが出てくるが、これが「24」になれば良い。  □序論\_神様は今も三つのことをしておられる。  1.ともに(霊) - 「神様は霊ですから」神様は今でも24私たちとともにおられる。  2.答え- 24私たちに答えておられる。  3.救いの働き-神様は24救いの働きを成し遂げておられる。  □本論\_幕屋を見て祈らなければならない内容だ。  1.契約－キリスト(福音)  契約を握った祈りだ。契約の鍵はキリストだ。私たちは礼拝するたびに、すべての場所に行くたびに、必ずキリスト(福音)についての流れを見なければならない。  2.礼拝-みことば  礼拝するとき、神様のみことばを確認するのだ。契約の流れを見て、今日、神様のみことばを握るのだ。  3.ただ－定刻祈り  このみことばを持って個人が祭壇を築き始めることが定刻祈りだ。  4.現場- 24  この祈りとみことばが現場に伝えられて行くことが「24」常時祈りだ。  5.御座- 25  私たちには御座の背景がある。この御座の背景の祝福を味わうとき、私たちの力でできないことが答えられてくるが、これが「25」だ。  6.庭-永遠  教会を通して、外とつながる三つの庭、すなわち異邦人の庭、祈りの庭、レムナントの庭が答えられてくるが、この祈りは永遠と関係がある。  7.証人- 237  絶対不可能であったのに神様の力で絶対可能になる。そこで証人だ。すると、私たちの職業が237と関係がある。  □結論  1.絶対主権－私たちは神様の絶対主権の祝福の中にいる。  2.絶対計画-神様は私たちに絶対計画がある。これを見つけなければならない。  3.絶対契約―これを見つければ、絶対契約が与えられるのだ。  4.絶対旅程-そのときから絶対旅程を行くのだ。  5.絶対目標-すると自然に神様が願われる絶対目標の中に行くようになっている。 | | □序論  1.本文の背景－ペテロが信仰告白した、その六日たって(2節)イエス様がペテロ、ヤコブ、ヨハネだけを変貌山に連れて行かれたが、エリヤ、モーセがともにいたのだ。すると、ペテロがエリヤ、モーセ、主のために幕屋三つを作ると言った。そのとき雲が覆って「これは、わたしの愛する子である。彼の言うことを聞きなさい」という御声が聞こえてきた。そして見ると、エリヤも、モーセも消えてキリストだけ残っていた。  2.一生をおいて握らなければならないターニングポイント－私の変貌山  神様は創造主で、全能なのに、貧しくて主の働きができないこと、多くの病気に捕らわれて何もできないこと、伝道運動できない無能な教会を変えなければならない。  3.キリストのために幕屋を作ること-私の人生で最も重要な天国保険  □本論\_ただキリストのために幕屋を作りなさい。人生、策定しなさい。  1.絶対不可能の中にいる私を見て、神様の絶対計画を発見しなさい。  △ペテロが幕屋三つを作るのは絶対不可能だ。変貌山で神様の絶対計画を見たのだ。  1)初めから神様の絶対計画を発見したヨセフ  2)神様の絶対計画を発見したへブ11章の人物  3)ペテロが発見した三つ  (1)マタ16:16　　 (2)マコ9:5　　 (3)Iペテ2:9  2.絶対無能を認めて神様の絶対答えを信じなさい。  1)カルバリの丘、オリーブ山、マルコの屋上の間、世界福音化が残っている。  2)モーセの律法とエリヤの力ではできない。ただキリストの光の力によって可能だ。絶対答えを信じなさい。  3)三つの地獄(貧しさ、病気、無能)を天国に変えるという決断(絶対計画)。私の力ではできない。神様が与えられる絶対答えで可能だ  3.迫害と苦しみが多いが神様の絶対旅程について行く。  1) 237が来て変化することができる神殿を作ろう。  2)病気の者が来ていやされることができるシステムを作っておく教会  3)次世代を助けることができる教会システムを作りなさい。  □結論\_変貌山を通過しなさい。  1.キリストのために幕屋を作るという契約を握りなさい。  2.すべての信徒は変貌山を通過しなさい。  1)神様の絶対計画を私の無能の中で発見するのだ。  2)神様の絶対答えを私の現実の中で信じるのだ。  3)これから行かなければならない真っ暗な道を神様の絶対旅程について行くのだ。  3.人生を策定しなさい-私の人生を神様にささげなさい。 | | |  |  | | --- | --- | | 一生のターニングポイント | 答えを知る者 |   △一生にどんな答えを受けなければならないかということを整理すれば、一週間、今日の答えを知るようになって、これを見つけて編集、設計、デザインすれば勝利する。2部はまことの伝道、宣教のために、どの現場に行かなければならないのか、すでに答えを知る者だ。  □序論   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 12使徒、70人 | | | | 世の国 | サタンの国 | 神の国 | | 宣教対象 | いやし対象  （私中心） | 1.使徒-全世界を12大教区に分けた  2.重職者－70弟子,70の国,70産業が成り立つ |  |  | | --- | | 現場(隠れた病気) -隠れた病気になって死んでいっている現場 | | 門を閉ざす教会を生かしなさい-三つの庭がない教会、人、肉的、文化、伝統中心である教会、このとき起きている3団体(ネフィリム中心)、代替宗教(神様必要x) | | 現場(答え)-現場にある答えを見つければ、いくらでも生かすことができる |   □本論  1.群衆（さまよい） -ここに関心がない。  　Nobody -私の主張、世の中、肉的、他人の話をする人は多いが、助ける人だけいない。  1) 14-16節－イエス様が行く所ごとに群衆が生かしてほしくて集まった。  2)不治の病になった。　3)霊的問題に捕われて行く所がない。  2.悪霊病-どの宗教も直すことができない。  Nothing－ない。伝道と宣教はNobody、Nothingに行くことだ。相手がキリストだけに関心を持つようにさせて、神様のみことばが集中して入れば働きが起こる。  1)医術でできない段階　2)マコ3:13-15ともに、伝道、悪霊を追い出す権威  3)マコ16:15-20わたしの名で悪霊を追い出す  3.祈り  OURS -ただを発見、唯一性を待つ、再創造を知って挑戦すること、これが私のこと(システム)になっていることが福音を持つ者の祈り  1) 23節、親―信じる者には、どんなことでもできるのです  2) 29節、弟子－この種のものは、祈りによらなければ、何によっても追い出せるものではありません  3)滅びるしかない私はいなくて、キリストが私の主人になること、キリストの力を味わって伝達すること、サタンのことを抜き取ってキリストのことが刻印されること  △本当に宣教する人が持っている武器-神様がこれをするようにされる、ただの理由は何かを探せば簡単に見える。すると神の国の答えが来るようになる。待てば良い。  □結論\_ 237か国、いやし、サミットをするとき  1.変えること－キリストに変えなければならない。  2.現場(いやし)－彼らが行って自分の国をいやすことができなければならない  3.働き人(使命) -この多民族が行って働き人を作り出すように使命を植え付けなければならない。 | |